

2024年6月21日開催 経営近況報告会 質疑応答要約

Q1	新しいゲームソフトや筐体を北米等、海外展開されるとのことでしたが、円安についてリスクと考えているのか、それともメリットと考えているのか教えてください。
A1	ゲーム関係の円安リスクに関しましては、国内事業においてはリスクはあると見ておりますが、海外展開においては非常にプラスに働くと考えております。
Q2	<p>『Dancing☆Star プリキュア』The Stage』の第2弾公演が決まって喜ばしく思います。私も実際に現地で公演を観させていただき、良い出来だと思いました。</p> <p>『Dancing☆Star プリキュア』The Stage』の演出面で、着ぐるみのプリキュアやキャラクターショー、マスクプレイミュージカルを彷彿とさせるような演出がありましたが、東映や劇団飛行船等、各社からノウハウの提供があったのでしょうか。また、そのようなシナジーを求めて、各社との協業は考えていないのでしょうか。</p>
A2	『Dancing☆Star プリキュア』The Stage』をご観劇いただきありがとうございました。初演では、舞台スタッフで脚本を起こし、それを鷲尾氏をはじめ東映アニメーションの方々を中心に監修をいただいておりますので、製作委員会以外の方々との協力関係という形ではございませんでした。また、現状に関しましては、まだ初演が終わったばかりで、第2弾公演を無事成功させることを目標としておりますので、まだ協業という考えには至っておりません。
Q3	業績予想について、セグメントごとの予想を出すのは難しいのでしょうか。
A3	<p>業績予想につきましては、セグメントごとの各種目標は開示していないということでご理解いただければと存じます。</p> <p>しかしながら、各事業の取り組みやパイプラインの状況をなるべく開示して、各事業の方向性をお示しできればと存じます。</p>
Q4	「牧場物語」のモバイルゲームをテンセントにライセンス許諾する件について、2019年のライセンス契約発表以降続報がないので、話せる範囲で教えてください。
A4	テンセント社の「牧場物語」のモバイルゲームの開発状況につきましては、中国の情勢や法律的な部分等、様々な変化に対応しつつ開発を行っているところでございますが、色々調整が必要な部分があり、時間が掛かっているというのが現状です。申し訳ございませんが、今申し上げられるのは以上となりますので、ご理解いただければと存じます。

Q5 『『Dancing☆Star プリキュア』The Stage』の第2弾が発表になり、私も期待しています。自社コンテンツの新規創出と育成に関して、マーベラスの発売タイトルの中には歴史がある作品も多いですが、会社の顔となる看板キャラクターというものがなかなか想像できません。例えば、会社ロゴの横に立てるようなキャラクターが出てきていません。ゲームに限らず、他のセグメントも含めて、キャラクターIPの創出や育成に関してどのように考えているのかお聞かせください。

A5 新規IPの創出につきましては、主にはコンシューマ事業が中心となって動いている面がありますので、ゲームとキャラクターが基本的にはセットだと考えております。ゲームがヒットすれば、キャラクターの人気も出てくるとも考えますが、当社の看板になるようなキャラクターを生み出すのは非常に難しい面があります。現在開発中のゲームの中でも、キャラクターの特徴付けというところを強く意識しながら進めているものもごございます。すぐには難しいかもしれませんが、当社としましても、マスコットのキャラクターが欲しいということは以前より社内で議論をしておりますので、新しいIPの中でキャラクターができるように、常に考えて企画を行っているところでございます。

Q6 先程の質問で、ゲーム事業の海外展開強化の話がありましたが、舞台演劇については海外進出を考えているのでしょうか。演目によっては海外の方向けのチケット販売もされているようですが、どのように考えているのかお聞かせください。

A6 現在取り組んでいるタイトルに関しては海外展開を想定しておりませんが、先々に関しては、やはり海外展開を行っていききたいということは念頭にございます。どのようなタイトルが海外進出に向いているか等、常に会議等で検討をしております。

Q7 『映画プリキュアオールスターズF』について、興行成績が非常に良かったにも関わらず、Blu-ray等が通販サイトでもすぐに無くなり、発売日当日に店頭で在庫がないという状況が多く見られ、機会損失だと思いました。需給のバランスを考えるのも難しいかもしれませんが、見通しが甘かったのではないのでしょうか。この辺りは改善していただければと思います。

A7 『映画プリキュアオールスターズF』のBlu-ray・DVD欠品によりご迷惑をお掛けし、大変申し訳ございません。出荷数に関しましては、販売会社様等との間で事前に調整し、主に予約数などから算出しておりますが、プリキュアは予約をして買われるお客様が少ない中で、人気が出て販売数が多くなってしまい、発売直後に店頭の在庫を切らしてしまった状況がございます。その後も非常に多くのリピートオーダーをいただいております、継続して販売させていただいている状況がございますので、次回以降は販売会社様の方でも多数取っていただけないかと期待しております。

以上